

4名の議員から一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

認定こども園の人的体制は

計画的な人材確保に努めたい

【木村 隆議員】

当町の認定こども園は、平成25年度から、保育型で新たなスタートを切った。

28年度からは、子育ての負担軽減として、保育料の無償化が行われ、25年度末で42名の児童が現在は64名と増加しており、無償化の影響と推察される。

利用世帯が多くなっても、充実した施設で、安心して預けられる着眼点は常に求められる。

①保育士の確保②臨職給与の改善③保育補助員の採用④ご飯の提供⑤おむつの持ち帰りの廃止、について見解を伺いたい。



木村 隆 議員

【鳴海青春町長】

保育士の確保は、職員定員適正化計画を基本に採用し、年齢構成や経験年数を踏まえ、適正配置に努めている。

臨時職員の給与は、月額から月額へ改善し、今年度は期末手当を増額改善している。

今後は、会計年度任用職員制度の推移を見ながら対応したい。

保育補助員は、代替保育士が不足しているので、計画的な人材確保に努めたい。

ご飯の提供は、3歳児以上の完全給食は可能だが、園の方針として、ご飯の持参を継続していきたい。

おむつの持ち帰りは、ゴミ収集の頻度・数量、長期保存が可能なスペースの確保や容器等の問題もあり、従来の方法の継続を考えている。

災害に対する総点検を

災害のない町づくりに努める

【熊野茂夫議員】

東日本大震災を機に、地震や津波に対する備えに、福島町防災計画が作成され現在に至っている。

胆振東部地震では、地震被害と同時にライフラインの機能が不能となり、物流が滞り、道内産業に大きな影響を及ぼした。

ここ数年の災害では、大雨や集中豪雨による大規模な水害や地滑りが全国で頻発している。

地震・津波、水害・地滑りなどの対策を検証し、総点検されてはどうか。



熊野 茂夫 議員

【鳴海青春町長】

町民の生命・財産を災害から保護するため、昭和56年に防災計画を策定し、災害予防、応急対策・災害復旧等を定め、平成3年・12年・27年に計画を見直してきた。

地震による津波浸水の見直し、急傾斜地や土石流危険区域調査に基づき、土砂災害警戒区域の指定など、防災計画の見直しが必要であることから、今後、過去の災害内容等の検証も含め対応していく。

災害時には、町民自らの対応も重要であり、防災訓練の実施や日々の防災意識の向上を図ることが大切と考えており、安心して安全な生活ができるよう、災害のない町づくりに努める。

デマンドバスの運行について

利用者ニーズの把握に努め運行

【杉村志朗議員】

当町では、千軒地区を除く福島町全域をデマンドバスが運行している。

経路としては、岩部から吉岡間を1日5回、平日運行しており、利用者には大変喜ばれている。

年末年始休業は止むを得ないが、土曜日の診察や日曜日の買い物などに運行を望む声も相当あるが、利用状況はどうか？

隣のデマンドバスは百円だが、当町では料金改定を考えているのか？岩部海岸クルーズへの利用の考え方を伺う。



杉村 志朗 議員

【鳴海青春町長】

デマンドバスの運行は、公共交通事業者、利用者、行政などで組織する「福島町地域公共交通確保維持改善協議会」で、運行状況の検証、運行計画等を協議し、承認を得て運行している。

休日運行は、アンケート調査でも少数で、現状維持が妥当であり、利用料の設定も、調査結果から一定の理解が得られている。

利用状況は、年々増加していたが、去年は天候の悪い日が続き減少したと分析している。

今後、アンケート調査など利用者ニーズに対応しながら運行していきたい。

岩部クルーズ事業については、まず、乗船される方のニーズ把握に努めたい。

道立福島商業高校の海外研修を

実施に向けて協議を進める

【平沼昌平議員】

当町では、小中学校にALTを配置し、英会話能力の向上を目指している。

生の英語に触れることで、文化や、価値観、考え方の違いを理解させ、多面的・多角的なモノの見方や考え方ができ、相手国の良さを認めるとともに、自分の故郷の良さをとらえることもできる。

福島商業高校の生徒に、英語圏での海外研修や実習を当町として提案してはどうか。国際協調・協力できる人材づくりが可能と思うが、考え方を伺う。



平沼 昌平 議員

【鳴海青春町長】

将来の国際社会に対応できる人材育成の一環として、必要性を認識しており、教育委員会と高校との協議を踏まえ、早い時期の実現に向けて、支援してまいりたい。

【前田勝広教育長】

高校、生徒・保護者の意見も聞きながら、実施に向けて協議を進めたい。

小学校段階においては、外国語に慣れ親しみ、学ぶことのできる指導体制の整備が重要であり、中学校では、日頃から英会話に繰り返し挑戦できる機会の拡充が必要と考えられている。中学校の英語教科は、専科教員1名、指導工夫改善加配教員1名、ALT（英語指導助手）1名の手厚い指導体制で、基本学習と、使える英語力の習得を重点に指導をしている。

一般質問

新たな養殖事業の検討を

関係機関と連携を図り進める

【平沼昌平議員】

クロマグロなどの大型魚は小型魚より資源に余裕があるとの新聞報道もあり、水産庁もこれまで、国全体の枠を設けてはいたが、漁獲量の枠を超えた事はなかった。

しかし、クロマグロは来期から罰則付きの漁獲可能量（TAC）制度の対象となり、クロマグロ漁業者に将来的な不安が拡がっている。

当町では様々な養殖事業を試験的に行なってきたが、沿岸漁業者の生活基盤を安定化するためにも前浜での新たな養殖事業を検討するべきだと思いが如何か。

今まで様々な養殖試験を行った魚種の内容と事業計画にのらなかった理由について伺う。

【鳴海青春町長】

浦和漁港内でキタムラサキウニ蓄養試験事業、福島漁港防波堤の内側でアカモクの養殖試験事業を実施している。

過去には、漁業協同組合と共同で、アワビ・ヒラメの養殖試験、前浜でホタテ、カキ、アワビの養殖試験を実施した。民間企業によるサケ類の養殖も実施したが、二枚貝の貝毒や採算面、施設の耐久性などの問題で事業化に至っていない。

前浜では、10億円台の水揚げを確保しているが、その7割を養殖昆布が占めており、リスク回避のため、複合的な魚種による新たな養殖事業を漁業協同組合、関係機関と連携を図りながら協議を進めたい。

議会ホームページから ライブ中継・過去の会議映像が視聴できます！

議会ホームページより議会のライブ中継や過去の会議映像が視聴できます。下記のURLからアクセスし、ご覧ください。

○議会ホームページ
<http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>
(リンク先：福島町ホームページ)
<http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/>

ホームページをご覧になり、ご感想、ご意見がございましたら下記のメールアドレスにお願いいたします。

○議会メールアドレス
gikai@town.fukushima.hokkaido.jp

福島町議会
Fukushima Town Council

議会の構成
議会改革の取組み
会議資料・映像
一般質問等答弁事項進捗状況調査
会議・行事予定
議会だより
議会用語集
関係例規集
行政視察の受入れ
監査委員例月出納検査報告書

系統団体等リンク集
全国町村議会議員会
北海道町村議会議員会
地方制度調査会
福島町議員ホームページ
瀬部幸基議員
川村明雄議員

本会議 委員会 議会だより 議会白書 ライブ配信

新着情報
ライブ配信を更新しました。
2018年11月7日
経済福祉常任委員会を更新しました。
2018年11月7日
経済福祉常任委員会を更新しました。
2018年11月7日

カレンダー／今日の予定
2018年11月

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	1	2	3
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

≪ 10月 12月 ≫